

岡山市国土強靱化地域計画 令和5年度施策の取組状況等

目標:1 直接死を最大限防ぐ

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	実績	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標
				令和4年度	①実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等	達成年度					
1-1	住宅及びその他の建築物の耐震化	住宅の耐震化率	21	89% (291,878/326,522棟)	89% (296,076/329,368棟)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	やや遅れ	民間建物所有者の耐震化に対する意識の向上が課題		95%	R7	68	都市整備局	建築指導課	○	
1-1		不特定多数の者が利用する建築物の耐震化率	21	90% (529/584棟)	91% (531/582棟)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	やや遅れ	民間建物所有者の耐震化に対する意識の向上が課題			R7	68	都市整備局	建築指導課	○	
1-1		その他の建築物の耐震化率	21	90% (2,104/2,329棟)	90% (2,180/2,398棟)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	やや遅れ	民間建物所有者の耐震化に対する意識の向上が課題			R7	68	都市整備局	建築指導課	○	
1-1		危険物の貯蔵場または処理場の用途に供する建築物の耐震化率	21	88% (197/222棟)	89% (216/242棟)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	やや遅れ	民間建物所有者の耐震化に対する意識の向上が課題		95%	R7	68	都市整備局	建築指導課	○	
1-1		避難路沿道建築物の耐震化率	21	92% (935/1,016棟)	92% (936/1,012棟)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	やや遅れ	民間建物所有者の耐震化に対する意識の向上が課題			R7	68	都市整備局	建築指導課	○	
1-1		(完了)災害対策本部及び現地対策本部を設置し、被災後応急活動や復旧活動の拠点となる建築物の耐震化率	21	92% (25/27棟)	96% (26/27棟)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	完了				R7	68	都市整備局	建築指導課	○	
1-1	市有建築物の耐震化	(完了)市有建築物の耐震化率	21	-	-		完了			-	-	68	都市整備局	公共建築課		
1-1		児童館の耐震化率	21	76% (16/21棟)	90% (19/21棟)	耐震化計画対象の4館のうち、1館の改修工事、2館を統廃合により1館の改修工事及び1館を廃止、1館は地元要望により移転する耐震基準を満たした旧幼稚園舎改修工事の実施設計を実施。	やや遅れ	当初現地建物の耐震改修工事を計画していたが、地元要望による2館の統廃合及び移転の調整や予算措置、R4年度入札不調による工事繰越により時間を要したものの、R5年度は予定どおり進捗。	95% (20/21棟)	R5	68	岡山っ子育成局	地域子育て支援課			
1-1		(完了)コミュニティハウスの耐震化率	21	-	-		完了			100%	R3	68	市民協働局	市民協働企画総務課		
1-1	市営住宅の耐震化及び老朽化対策	市営住宅の耐震化率 住棟ベース 住戸ベース	22	74% (584/793棟) 91% (5,101/5,575戸)	74% (583/792棟) 91% (5,093/5,567戸)	老朽化の著しい木造住宅を解体	遅れ	住替えが進まない等、解体対象となる木造住宅が増加しなかったため。	76% (584/769棟) 92% (5,101/5,532戸)	R7	69	都市整備局	住宅課			
1-1		計画推進期間後も継続して耐震化率向上に取り組むこととする。	22	-	-	引き続き、耐震化率向上のための取り組みを促進していく	概ね順調			-	-	69	都市整備局	住宅課		
1-1	公民館の耐震化	公民館の耐震化率	22	98% (57/58棟)	98% (57/58棟)	旭公民館建替えのための新公民館整備	やや遅れ	アスベストが検出されたため。	100%	R7	69	教育委員会	生涯学習課	○		
1-1	消防活動拠点の整備と機能強化	築後30年以上を経過している消防庁舎1署3出張所について、優先度をつけて計画的に建替える。	22	1署3出張所 / 1署6出張所	1署3出張所 / 1署6出張所	1署6出張所に優先順位を付けR5年度末までに1署1出張所を建替えた。R4年度から1出張所を整備中。R5年度から1出張所を調整中。	順調	指数欄(変更前)築後30年以上を経過している消防庁舎1署3出張所(変更後)築後30年以上を経過している消防庁舎1署6出張所	-	-	69	消防局	消防企画総務課	○		
1-1	消防団機庫の耐震化と機能強化	消防団機庫耐震化率	23	96% (95/99分団)	96% (95/99分団)		概ね順調		100%	R5	69	消防局	消防企画総務課	○		
1-1		築後概ね30年以上経過し、待機所及びホース乾燥塔のない機庫についても計画的に建て替える。	23	-	-	2機庫を整備	順調		-	-	69	消防局	消防企画総務課			
1-1	橋梁の耐震化	橋長15m以上の緊急輸送道路上の橋梁及び跨線・跨道橋のうち、耐震補強が必要な橋梁の耐震補強実施率	23	48% (48/99橋)	48% (48/99橋)	令和6年度の耐震補強工事に向けて、橋脚等の補修工事を実施	概ね順調		50%	R7	70	都市整備局	道路港湾管理課	○		
1-1	住宅防火対策の推進	計画的な防火教室の実施 年500回	24	197	360	新型コロナウイルス5類移行に伴い、制限されていた広報が再開された。目標(500回/年)の防火教室は実施できなかったが、マスクやSNSなどの間接型の広報を実施した。	やや遅れ	年度途中で新型コロナウイルスが5類へ移行したが、同ウイルスによる影響が年間を通してまだあったため。	-	-	70	消防局	予防課			
1-1		住宅用火災警報器設置率	24	83.3%	83.3%	11月10日「住宅用火災警報器のイイテンケンの日」を起点とした広報活動を実施した他、岡山県下13消防本部と合同で「住宅用火災警報器のイイテンケンの日キャンペーン」を実施した。	概ね順調		85%	R7	70	消防局	予防課			
1-1		住宅用火災警報器点検実施率	24	43.0%	43.0%	11月10日「住宅用火災警報器のイイテンケンの日」を起点とした広報活動を実施した他、岡山県下13消防本部と合同で「住宅用火災警報器のイイテンケンの日キャンペーン」を実施した。	順調		60%	R7	70	消防局	予防課	○		
1-1	消防法令違反の未然防止及び是正推進	重大違反対象物数	24	5件	5件	令和5年度末では5件だが、いずれも年度内で新規覚知したもの。現在は短期間で違反処理(警告、命令)を実施していることから、長期にわたり改善されていない重大違反対象物は実質0となっている。	順調		0件	R7	70	消防局	予防課			
1-1	既存高齢者施設等のスプリンクラー設備等整備	スプリンクラー設備等設置の進捗率:小規模多機能型居宅介護施設	24	93.1% (67/72事業所)	94.4% (67/71事業所)	残りの4事業所は事業所規模等により設置不要	順調		100%	R5	70	保健福祉局	事業者指導課			

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標		
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度	
1-1	消防隊・救急隊の出動体制強化	出動待機車両台数に対する出動可能隊数の割合	25	81% (56/69)	81% (56/69)		概ね順調			100%	R7	71	消防局	警防課			
1-1	消防指揮体制の機能強化	1当務あたりの指揮隊、指揮兼務隊の人数	25	指揮隊1隊3名 指揮兼務隊5隊22名	指揮隊1隊3名 指揮兼務隊5隊22名	-	やや遅れ	署指揮隊を運用開始するためには職員 の増員が必要となる。	令和6年度5月に、北署が指揮兼 務隊から指揮隊へ移行した。(試行 的運用開始) 目標欄 (変更前)指揮隊1隊4名、指揮兼 務隊5隊25名 達成年R5 (変更後)指揮隊5隊18名 達成年 R8	指揮隊1隊4名 指揮兼務隊5隊25名	R5	71	消防局	警防課	○	○	
1-1		災害(建物火災)における指揮隊と最先着隊との 現場到着時間差(事務受託地域(吉備中央町)を 除く。)	25	7分53秒 (指揮隊:16分05秒/最先 着隊:8分11秒)	7分06秒 (指揮隊:13分24秒/最先着 隊:6分18秒)		概ね順調	警防課指揮隊の現場到着時間短縮 のため、北消防署配置を継続してい る。	目標欄 (変更前)5分49秒(指揮隊:15分46 秒 / 最先着隊:9分57秒) 達成年 R5 (変更後)5分00秒(指揮隊:12分00 秒 / 最先着隊:7分00秒) 達成年 R7	5分49秒 (指揮隊:15分46秒 / 最先着隊:9分57秒)	R5	71	消防局	警防課	○		
1-2		津波ハザードマップの配布・周知	25	-	-		順調	出前講座等で配布・周知を継続して 行った。 浸水想定区域内にある全世帯へ配布 を行った。		-	-	71	危機管理室	危機管理室	○	○	
1-2		津波避難施設の確保 小中学校 その他市有施設 協定による施設	25	26施設 1施設 27施設	26施設 1施設 27施設		概ね順調	R5年度は増減なし		-	-	71	危機管理室	危機管理室	○		
1-2		情報伝達訓練の実施(毎年)	25	7回	6回		順調	Lアラート訓練実施(1回)、 Jアラート訓練(国民保護情報3回、緊 急地震速報2回)		-	-	71	危機管理室	危機管理室			
1-2		情報通信機器の操作研修、訓練の実施(毎年)	25	12回	8回		順調	岡山県総合防災情報システム入力研 修を4月に実施(6回)、入力訓練を2 回実施		-	-	71	危機管理室	危機管理室			
1-2	安全な避難の確保	総合防災訓練の実施(毎年)	25	1回	1回		順調	R5.8.27実施		-	-	71	危機管理室	危機管理室	○	○	
1-2		自主防災組織率	25	94.2%	94.3%		概ね順調	・出前講座等で自主防災組織の必要 性の周知啓発。 ・連合町内会総会で、結成に向けた 協力依頼を実施。 ・全連合町内会、単位町内会に結成 と活動活性化に向けた働きかけを文 書で実施。 ・自主防災組織結成数:1,189件 ・避難活動準備助成金:9件 ・活動運営費助成金:278件 ・地域役員・職員等への防災講習会 (防災士養成研修)受講生47人		100%	R7	71	危機管理室	危機管理室	○	○	
1-2	防災教育・啓発	地域向け防災説明会の実施(毎年)	26	4回開催(各区1回)	4回開催(各区1回)		順調	地域において個別避難計画の作成の 中心となる自主防災組織や民生委 員・児童委員を対象に、個別避難計 画の作成についての説明会を実施。 個別避難計画の必要性や作成方法、 個人情報取扱などについての説明 の他、先進地域の取組事例の紹介な どを行った。		-	-	72	危機管理室	危機管理室	○	○	
1-2		(完了)女性向け防災ハンドブックの作成	26	-	-		完了			作成	R3	72	危機管理室	危機管理室		○	
1-2	岡山市立学校における安全 教育の推進	(完了)学校安全アドバイザーの派遣率	26	-	-		完了			100% (130/130校)	R3	72	教育委員会	教育支援課			
1-3	漁港の高潮対策	-	26	-	-		やや遅れ	郡漁港防波堤修繕工事 他	阿津漁港海岸や北浦漁港海岸の施設 整備や維持管理面で、地元調整が難航 している箇所がある。	引き続き漁港海岸保全施設の整備 を進めていく。	-	-	72	産業観光局	農林水産課		
1-3	河川整備	河川の改修率 (改修済延長/改修計画延長)	26	48% (6.1/12.6km)	48% (6.1/12.6km)		やや遅れ	護岸改修	住宅密集地で出入りの確保が困難な ため、施工延長が伸びない状況。	58% (7.3/12.6km)	R7	72	下水道河川局	下水道河川計画 課		○	
1-3		河川維持管理計画策定率	26	84.4% (54/64河川)	100% (64/64河川)		概ね順調	維持管理計画10河川策定		100% (64/64河川)	R7	72	下水道河川局	下水道河川計画 課	○	○	
1-3	内水氾濫対策	H27からR7までの目標整備面積を393haに設定	27	46.1% (181/393ha)	71.0% (279/393ha)		概ね順調	今保排水区のポンプ場整備および浦 安排排水区の雨水幹線の整備		100% (393/393ha)	R7	73	下水道河川局	下水道河川計画 課	○	○	
1-3		既存施設を有効活用した浸水対策の推進	27	-	-		概ね順調	浸水対策特別事業により農業水路 の浚渫等を実施		-	-	73	下水道河川局	下水道河川計画 課	○		
1-3	内水氾濫対策	水防資機材の支給・支援の推進	27	-	-		概ね順調	・市民への土のう配布を5回実施 ・可搬式ポンプを4町内会へ各1台 貸与 ・市民設置の止水板に2件助成等		-	-	73	下水道河川局	下水道河川計画 課	○		

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				実績	①実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
1-3		排水機場保全計画策定	27	28% (20/71箇所)	30% (21/71箇所)	保全計画策定	概ね順調			35% (25/71箇所)	R7	73	産業観光局	農村整備課		
1-3	内水ハザードマップの作成	内水ハザードマップを使った浸水対策に関する出前講座を継続的に実施。	27	公民館などで5か所実施	公民館などで10か所実施	公民館などで出前講座を実施	概ね順調			-	-	73	下水道河川局	下水道河川計画課	○	
1-4		土砂災害ハザードマップの配布・周知	27	-	-	出前講座等で配布・周知を継続して行った。 浸水想定区域内にある全世帯へ配布を行った。	順調			-	-	73	危機管理室	危機管理室	○	○
1-4	安全な避難の確保(一部再掲)	自主防災組織率	27	94.2%	94.3%	・出前講座等で自主防災組織の必要性の周知啓発。 ・連合町内会総会で、結成に向けた協力依頼を実施。 ・全連合町内会、単位町内会に結成と活動活性化に向けた働きかけを文書で実施。 ・自主防災組織結成数:1,189件 ・避難活動準備助成金:9件 ・活動運営費助成金:278件 ・地域役員・職員等への防災講習会(防災士養成研修)受講生47人	概ね順調			100%	R7	73	危機管理室	危機管理室	○	○
1-4	防災教育・啓発(再掲)	地域向け防災説明会の実施(毎年)	28	4回開催(各区1回)	4回開催(各区1回)	地域において個別避難計画の作成の中心となる自主防災組織や民生委員・児童委員を対象に、個別避難計画の作成についての説明会を実施。個別避難計画の必要性や作成方法、個人情報の取扱などについての説明の他、先進地域の取組事例の紹介などを行った。	順調			-	-	74	危機管理室	危機管理室	○	○
1-4		(完了)女性向け防災ハンドブックの作成	28	-	-		完了			作成	R3	74	危機管理室	危機管理室		○
1-4	土砂災害警戒区域の点検・啓発活動	新たに土砂災害警戒区域に指定された区域内にある要配慮者利用施設を対象に土砂災害警戒区域の点検および要配慮者利用施設(管理者)への啓発活動(毎年6月実施)	28	5箇所実施	4箇所実施	土砂災害警戒区域に指定された区域内にある要配慮者利用施設の土砂災害警戒区域の点検を行った。	順調			-	-	74	下水道河川局	下水道河川計画課		
1-4	土砂災害特別警戒区域に建っている危険住宅の移転促進	防災出前講座等に合わせた制度説明会の実施(毎年)	28	1回	3回	防災出前講座での説明会を実施	概ね順調			年1回	-	74	都市整備局	住宅課		
1-4	岡山市立学校における安全教育の推進(再掲)	(完了)学校安全アドバイザーの派遣率	28	-	-		完了			100% (130/130校)	R3	74	教育委員会	教育支援課		
1-4	消防指揮体制の機能強化(再掲)	1当務あたりの指揮隊、指揮兼務隊の人数	29	指揮隊1隊3名 指揮兼務隊5隊22名	指揮隊1隊3名 指揮兼務隊5隊22名		やや遅れ	署指揮隊を運用開始するためには職員の増員が必要となる。	令和6年度5月に、北署が指揮兼務隊から指揮隊へ移行した。(試行的運用開始)	指揮隊1隊4名 指揮兼務隊5隊25名	R5	75	消防局	警防課	○	○
1-4		災害(建物火災)における指揮隊と最先着隊との現場到着時間差(事務受託地域(吉備中央町)を除く。)	29	7分53秒 (指揮隊:16分05秒/最先着隊:8分11秒)	7分06秒 (指揮隊:13分24秒/最先着隊:6分18秒)	警防課指揮隊の現場到着時間短縮のため、北消防署配置を継続している。	概ね順調		目標欄(変更前)5分49秒(指揮隊:15分46秒/最先着隊:9分57秒)達成年R5(変更後)5分00秒(指揮隊:12分00秒/最先着隊:7分00秒)達成年R7	5分49秒 (指揮隊:15分46秒/最先着隊:9分57秒)	R5	75	消防局	警防課	○	
1-5		ゆれやすさ、地震危険度、液状化危険度マップの配布・周知	29	-	-	出前講座等で配布・周知を継続して行った。	順調			-	-	75	危機管理室	危機管理室	○	○
1-5		各種ハザードマップの配布・周知	29	-	-	出前講座等で配布・周知を継続して行った。 浸水想定区域内にある全世帯へ配布を行った。	順調			-	-	75	危機管理室	危機管理室	○	○
1-5	災害リスクの周知	(完了)計画規模降雨を踏まえた洪水ハザードマップの作成・公表	29	-	-		完了			作成・公表	R3	75	危機管理室	危機管理室	○	
1-5		(完了)高潮ハザードマップの作成・公表	29	作成・公表	-		完了			作成・公表	R4	75	危機管理室	危機管理室		
1-5		総合防災訓練の実施(毎年)	29	1回	1回	R5.8.27実施	順調			-	-	75	危機管理室	危機管理室	○	○
1-5		指定緊急避難場所・指定避難所の確保	29	319箇所 323箇所	320箇所 323箇所	-	概ね順調			-	-	75	危機管理室	危機管理室	○	○
1-5		協定避難場所の運営体制の整備	29	-	-	施設管理者と協議を継続して行っている。	概ね順調			-	-	75	危機管理室	危機管理室	○	○

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
1-5	災害リスクの周知	自主防災組織率	29	94.2%	94.3%	・出前講座等で自主防災組織の必要性の周知啓発。 ・連合町内会総会で、結成に向けた協力依頼を実施。 ・全連合町内会、単位町内会に結成と活動活性化に向けた働きかけを文書で実施。 ・自主防災組織結成数:1,189件 ・避難活動準備助成金:9件 ・活動運営費助成金:278件 ・地域役員・職員等への防災講習会(防災士養成研修)受講生47人	概ね順調			100%	R7	75	危機管理室	危機管理室	○	○
1-5	防災教育・啓発(再掲)	地域向け防災説明会の実施(毎年)	30	4回開催(各区1回)	4回開催(各区1回)	地域において個別避難計画の作成の中心となる自主防災組織や民生委員・児童委員を対象に、個別避難計画の作成についての説明会を実施。個別避難計画の必要性や作成方法、個人情報の取扱などについての説明の他、先進地域の取組事例の紹介などを行った。	順調			-	-	76	危機管理室	危機管理室	○	○
1-5		(完了)女性向け防災ハンドブックの作成	30	-	-		完了			作成	R3	76	危機管理室	危機管理室		○
1-5	岡山市立学校における安全教育の推進(再掲)	(完了)学校安全アドバイザーの派遣率	30	-	-		完了		100% (130/130校)	R3	76	教育委員会	教育支援課			
1-5	情報提供の実施	情報伝達訓練の実施(毎年)	30	19回	19回	緊急告知ラジオ試験放送毎月実施、Lアラート訓練実施(1回)、Jアラート訓練(国民保護情報4回、緊急地震速報2回)	順調			-	-	76	危機管理室	危機管理室		
1-5		緊急告知ラジオ配備数	30	4,458台	4,475台	自主防災組織等への配備を行い、緊急伝達手段の普及を行った。	順調			-	-	76	危機管理室	危機管理室		
1-5		緊急告知ラジオ販売数	30	934台	479台	緊急情報伝達手段の普及の一環として、緊急告知ラジオの一般販売を実施。迅速な情報入手が困難な高齢者や障害者等に対しては、軽減価格での販売を行った。	順調			-	-	76	危機管理室	危機管理室		
1-5		(完了)SNS上の災害情報を収集するサービスの導入	30	-	-		完了			導入	R3	76	危機管理室	危機管理室		
1-5		(完了)災害用スマートフォンの配備	30	129台	-		完了			120台	R3	76	危機管理室	危機管理室		
1-5		情報通信機器の操作研修の実施(毎年)	30	8回	8回	岡山県総合防災情報システム入力研修を4月に実施(8回)	順調			-	-	76	危機管理室	危機管理室		
1-5		地域での避難行動要支援者名簿を活用した実効性ある支援体制の構築	災害リスクの高い地域の避難支援体制の整備	31	-	-	避難行動要支援者名簿を作成し、地域に提供するとともに、要支援者の個別避難計画作成についての説明会を開催し、取組促進を図った。	概ね順調			整備	R7	77	危機管理室 保健福祉局 市民協働局	危機管理室 保健福祉局 市民協働局	○
1-5	要配慮者利用施設の避難確保計画策定の促進	要配慮者利用施設の避難確保計画策定率	31	88.9% (1,911/2,150施設)	89.6% (1,997/2,230施設)	講習会(ワークショップ形式)4回実施	やや遅れ	職員数の少ない小規模施設等から提出がされていない状況にある。	100% (2,126/2,126施設)	R5	77	下水道河川局	下水道河川計画課	○	○	
1-5	岡山市防災マニュアル多言語版の作成・配布	-	31	-	-	出前講座等で配布・周知を継続して行った。	順調		-	-	77	危機管理室	危機管理室			
1-5	「やさしい日本語」の普及	「やさしい日本語」講座開催回数 年2回	31	年2回	年2回	年2回実施	順調		年2回	-	77	市民協働局	国際課	○		
1-5	社会福祉施設等における非常災害時の体制整備の強化	-	32	-	-	非常災害時の計画の策定状況及び避難訓練等の実施状況を把握し、必要な助言・指導を行った	概ね順調		-	-	77	保健福祉局	監査指導課 高齢者福祉課 事業者指導課			

目標:2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
2-1	物資調達・供給体制の構築	災害時物資供給協定の推進	33	26協定	28協定	継続して協定の推進を図っていく。	概ね順調			-	-	78	危機管理室	危機管理室		
2-1		(完了)岡山市物資調達・搬送体制の整備	33	整備	-		完了			整備	R3	78	危機管理室	危機管理室		○
2-1		集中備蓄倉庫の整備	33	2箇所	0箇所	東区集中備蓄倉庫建設中(R6.4完成予定)	概ね順調			4箇所	R6	78	危機管理室	危機管理室	○	○
2-1	備蓄計画の推進、避難所における物資・資機材の確保、家庭内備蓄の啓発	岡山市備蓄計画(計画期間R2~)34品目 備蓄状況抜粋 アルファ化米 飲料水(500ML) 毛布	33	38.8% (274,707/708,000) 36.6% (307,463/840,000) 95.3% (132,686/139,200)	77.4% (422,417/546,000) 48.8% (443,843/909,000) 87.7% (133,374/152,000)	備蓄計画に基づき、購入を進めている。	概ね順調		100%	R9	78	危機管理室	危機管理室	○	○	

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				実績 令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
2-1	備蓄計画の推進、避難所における物資・資機材の確保、家庭内備蓄の啓発	市民意識調査での水・食糧の備蓄実施率の向上	33	-	-	令和5年度は市民意識調査実施なしのため実績入力不可。出前講座等で水・食糧の備蓄の重要性の啓発周知を行っている。	順調			-	-	78	危機管理室	危機管理室	○	
2-1	緊急輸送道路等の整備・耐震対策	橋長15m以上の緊急輸送道路上の橋梁及び跨線・跨道橋のうち、耐震補強が必要な橋梁の耐震補強実施率	33	48% (48/99橋)	48% (48/99橋)	令和6年度の耐震補強工事に向けて、橋脚等の補修工事を実施	概ね順調			50%	R7	79	都市整備局	道路港湾管理課	○	○
2-1		橋長15m以上の補修が必要な橋梁のうち、長寿命化対策を実施した橋梁の割合	33	6% (7/108橋)	7% (8/108橋)	長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検と補修工事を実施	概ね順調			6%	R7	79	都市整備局	道路港湾管理課	○	○
2-1	水道施設の耐震化	浄水施設の耐震化率	34	8.5%	8.5%	三野浄水場浄水池基本・詳細設計実施	概ね順調			64.9%	R8	79	水道局	配水課		○
2-1		配水池の耐震化率	34	60.7%	62.8%	坂根配水池の廃止	概ね順調			78.5%	R8	79	水道局	配水課		○
2-1		ポンプ場の耐震化率	34	52.1%	52.1%	三野浄水場浄水池基本・詳細設計実施	概ね順調			84.3%	R8	79	水道局	配水課		○
2-1		管路の耐震管率	34	20.5%	21.3%	老朽管の更新を主に実施	やや遅れ	事業費高騰に伴う更新率の低下		25.1%	R8	79	水道局	配水課		○
2-1		基幹管路の耐震適合率	34	51.6%	53.9%	基幹施設整備計画で実施	順調			52.3%	R8	79	水道局	配水課	○	○
2-1		耐震確保拠点施設数	34	29施設	37施設	岡村一心堂病院等への管路整備を実施	順調			49施設	R8	79	水道局	配水課		○
2-1		災害時確保水量	34	49,690m ³	50,490m ³	瀬戸調整池の完成	順調			53,940m ³	R8	79	水道局	配水課		○
2-1	相互応援体制等の整備	-	35	-	-	東京都や他政令市との間で、相互応援に関する覚書を締結済。その他にも日本水道協会岡山県支部内の相互応援体制を整備済。より効果的な応援体制となるように、内容を精査しつつ、継続して合同訓練を実施している。	順調			-	-	79	水道局	企画総務課		
2-2	道路交通の確保	4m以上となる市道の改良率	35	51.00%	51.1%	道路改良工事を実施	概ね順調			52%	R6	79	都市整備局	道路計画課		
2-2	道路防災対策の推進	-	35	-	-	道路防災整備計画に基づき、定期点検と防災工事を実施	概ね順調			-	-	79	都市整備局	道路港湾管理課		
2-2	消防ヘリの機能強化	消防ヘリコプターの機動性・活動能力を最大限に発揮する	35	火災 28件 救急 24件 救助 10件 その他 1件	火災 21件 救急 14件 救助 7件 その他 2件	消防ヘリコプターの機動性・活動能力を発揮し遠隔地等で起こる災害に対応した。	順調			-	-	80	消防局	警防課		
2-3	岡山西部総合公園(仮称)整備	(完了)事業の進捗率	36	100%	-		完了			100%	R4	80	都市整備局	庭園都市推進課		○
2-3	消防活動拠点の整備と機能強化	築後30年以上を経過している消防庁舎1署3出張所について、優先度をつけて計画的に建替える。	36	1署3出張所 /1署6出張所	1署3出張所 /1署6出張所	1署6出張所に優先順位を付けR5年度末までに1署1出張所を建替えた。R4年度から1出張所を整備中。R5年度から1出張所を調整中。	順調		指数欄 (変更前)築後30年以上を経過している消防庁舎1署3出張所 (変更後)築後30年以上を経過している消防庁舎1署6出張所	-	-	80	消防局	消防企画総務課	○	
2-3	消防団機庫の耐震化と機能強化(再掲)	消防団機庫耐震化率	36	96% (95/99分団)	96% (95/99分団)	-	概ね順調			100%	R5	80	消防局	消防企画総務課	○	
2-3		築後概ね30年以上経過し、待機所及びホース乾燥塔のない7機庫についても計画的に建て替える。	36	-	-	2機庫を整備	順調			-	-	80	消防局	消防企画総務課		
2-3		(完了)防火衣整備数	36	-	-		完了			990着	R3	80	消防局	消防企画総務課	○	
2-3	消防団活動力の強化	(完了)防火長靴整備数	36	956足	1,000足	44足整備	完了			990足	R5	80	消防局	消防企画総務課	○	
2-3		(完了)防火帽整備数	36	956個	1,000個	44個整備	完了			990個	R5	80	消防局	消防企画総務課	○	
2-3	消防隊・救急隊の出動体制強化(再掲)	出動待機車両台数に対する出動可能隊数の割合	37	81% (56/69)	81% (56/69)		概ね順調			100%	R7	81	消防局	警防課		
2-3	消防力の充実強化	【消防局】車両更新 (完了)更新12台/114台(R3) (完了)更新4台/114台(R4) (完了)更新7台/114台(R5) 更新8台/114台(R6) 更新10台/114台(R7)	37	更新3台	更新8台	更新計画に伴い、順次更新している。	概ね順調			-	-	81	消防局	警防課		○

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
2-7	災害時の対応策推進	(完了)マンホールトイレの整備 年4基	42	4基	4基	堺明小学校・横井小学校・御野小学校・東崎小学校に整備	順調			-	-	85	下水道河川局	下水道管路整備課		

目標:3 必要不可欠な行政機能は確保する

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
3-1	矯正施設から被收容者が逃亡した場合の情報提供	-	43	-	-	R5年度は実績なし。今後開催される訓練があれば参加し、情報の連携を密にする	概ね順調			-	-	86	危機管理室	危機管理室		
3-2	安全・安心なみちづくり	無電柱化を実施した延長	43	79.7km	82.1km	電線共同溝工事を実施	順調			81km	R6	86	都市整備局	道路計画課		○
3-3	業務継続体制の整備・充実、災害応急体制の確保等	業務継続体制の整備、他自治体との連携強化等	43	-	-	令和3年度に業務継続計画(風水害対策編)を策定し、令和5年度一部改正。継続して整備を図っていく。	概ね順調			-	-	86	危機管理室	危機管理室		
3-3	業務継続体制の整備(参集時の職員用食糧の確保)	災害活動職員が、概ね3日分の食糧を持参するように周知を図る。	44	-	-	引き続き、周知していく	概ね順調			-	-	86	総務局	給与課		
3-3	災害時対応マニュアルの作成・周知と指定金融機関との協定締結	既存の研修会などを活用し、周知を図る。	44	-	-	ライブラリに掲載し、研修動画で全庁へ周知した	順調			-	-	87	会計管理室	会計課		
3-3	災害対策本部体制の整備	図上防災訓練の実施(毎年)	44	-	4回	市主催の図上訓練を2回、県主催の図上訓練を2回実施	順調			-	-	87	危機管理室	危機管理室		
3-3		災害対応に関する研修会の実施(毎年)	44	-	-	職員を対象に本部体制等に関する研修を実施した。	概ね順調			-	-	87	危機管理室	危機管理室		
3-3	防災拠点の整備(新庁舎整備事業)	本庁舎の供用開始	44	-	9.2%(進捗率)	新庁舎の建設工事中	順調			供用開始	R8	87	総務局	新庁舎整備課		○
3-3	火葬場施設の機能の確保	(完了)岡山北斎場の整備 供用開始	44	-	-	-	完了			供用開始	R3	87	市民生活局	生活安全課		○
3-3		西大寺斎場の代替整備(瀬戸内市新火葬場)※仮称	44	工事中	-		順調			工事中	供用開始	R7	87	市民生活局	生活安全課	
3-3	消防活動拠点の整備と機能強化(再掲)	築後30年以上を経過している消防庁舎1署3出張所について、優先度をつけて計画的に建替える。	45	1署3出張所/1署6出張所	1署3出張所/1署6出張所	1署6出張所に優先順位を付けR5年度末までに1署1出張所を建替えた。R4年度から1出張所を整備中。R5年度から1出張所を調整中。	順調			-	-	87	消防局	消防企画総務課		○
3-3	市立学校の長寿命化改修	長寿命化改修事業	45	3.6%(3/83棟)	3.6%(3/83棟)	1棟の長寿命化改修工事を行った	順調			100%(83/83棟) ※計画期間内の目標	R32	88	教育委員会	学校施設課		○
3-3		大規模改修事業(トイレ洋式化、バリアフリー化改修等の質的整備)	45	20.2%(25/124校)	25.0%(31/124校)	6校のトイレ改修工事を行った	順調			100%(124/124校)	R16	88	教育委員会	学校施設課		○

目標:4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
4-1	市有施設へのエネルギー供給源の多様化	(完了)市有施設への太陽光発電設備の設置	46	123施設	130施設	施設の新築・改修に合わせて設置	完了			130施設	R7	89	環境局	ゼロカーボン推進課		
4-1		公用車への電気自動車の導入	46	40台	39台	リース期間の更新等に合わせて導入可能な施設に順次導入	遅れ	充電設備の設置場所の問題や、軽EVの走行可能距離の問題等により、導入が進んでいない。		200台	R7	89	環境局	ゼロカーボン推進課		
4-1	消防の情報通信施設の電源確保	(完了)市内無線中継所の電源確保(72時間稼働)	46	66%(4/6拠点)	100%(6/6拠点)	2拠点の工事が完了し、市内全ての無線中継所の電源確保事業完了。	完了			100%(6/6拠点)	R5	89	消防局	情報指令課		○
4-1	消防の情報通信施設の強化	次世代衛星通信地球局の整備	46	-	-	-	未着手	消防庁が次世代衛星通信地球局を搭載した無線中継車について検討中であり、動向を注視。		-	-	89	消防局	情報指令課		○
4-1	岡山市重要システム業務継続計画	-	47	-	-	-	完了			-	-	89	政策局	デジタル推進課		
4-2	情報通信基盤・伝達体制の確保	-	47	-	-	情報通信基盤に係る設計業務委託実施	概ね順調	R8新庁舎移転に合わせ、防災情報ネットワーク、緊急情報伝達システムに係る整備設計業務委託実施		-	-	90	危機管理室	危機管理室		

目標:5 経済活動(サプライチェーンを含む)を機能不全に陥らせない

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
5-1	企業の事業継続計画(BCP)の策定	-	48	R4.9.8にオンライン方式でセミナーを実施。34名参加	R5.9.8にハイブリッド方式(リアル+オンライン)でセミナーを実施。44名参加	市HPIにおいて事業継続計画(BCP)作成の周知を行ったり、岡山商工会議所と共同でセミナーを実施。	順調			-	-	91	産業観光局	産業振興課		

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
5-1	金融支援	-	48	-	-	岡山市制度融資「経営安定資金」による融資及び新型コロナの影響を受けた事業者向けに体質改善資金融資(新型コロナウイルス関連)を継続中	順調			-	-	91	産業観光局	産業振興課		
5-1	地域の経済力の強化	-	48	-	-	物価高騰及び新型コロナの長期化の影響を受けた事業者向けに幅広い支援を適時実施。中小企業・小規模企業の育成・支援等、産業振興にかかる施策・事業については引き続き順次実施。	順調			-	-	91	産業観光局	産業振興課		
5-2	工業用水道施設の耐震化	管路の耐震適合率	48	40.2% (8,989/22,386)	40.2% (8,989/22,386)	工事施工中	概ね順調			41.5%	R8	91	水道局	配水課		
5-3	危険物施設等の災害時連携体制の強化	-	49	・現地訓練2回 ・特別訓練1回	・現地訓練2回 ・特別訓練1回	訓練や立入検査、危険物安全週間を通じ、災害発生時の連携体制について一層の強化を図った。	概ね順調			-	-	91	消防局	予防課・警防課		
5-4	道路交通基盤の整備	外環状線の供用率	49	49%	49%	道路改良工事を実施	概ね順調			57%	2025年	92	都市整備局	道路計画課		○
5-4		中環状線の供用率	49	90%	90%	(都)下中野平井線の渡河部、陸上部の橋梁下部工を実施	やや遅れ	用地取得及び旭川の橋梁架設に伴う架設計画見直し等に不測の日数を要したため。	96%	2020年代	92	都市整備局	道路計画課		○	
5-4	安全・安心なみちづくり(再掲)	無電柱化を実施した延長	49	79.7km	82.1km	電線共同溝工事を実施	順調			81km	R6	92	都市整備局	道路計画課		○
5-4	道路防災対策の推進(一部再掲)	-	49	-	-	道路防災整備計画に基づき、定期点検と防災工事を実施	概ね順調			-	-	92	都市整備局	道路港湾管理課		
5-4	橋梁の耐震化(再掲)	橋長15m以上の緊急輸送道路上の橋梁及び跨線・跨道橋のうち、耐震補強が必要な橋梁の耐震補強実施率	49	48% (48/99橋)	48% (48/99橋)	令和6年度の耐震補強工事に向けて、橋脚等の補修工事を実施	概ね順調			50%	R7	92	都市整備局	道路港湾管理課		○
5-5	災害時対応マニュアルの作成・周知と指定金融機関との協定締結(再掲)	既存の研修会などを活用し、周知を図る。	50	-	-	ライブラリに掲載し、研修動画で全庁へ周知した	順調			-	-	92	会計管理室	会計課		
5-6	災害時物資供給協定の推進		50	26協定	28協定	継続して協定の推進を図っていく。	概ね順調			-	-	93	危機管理室	危機管理室		
5-6	物資調達・供給体制の構築(再掲)	(完了)岡山市物資調達・搬送体制の整備	50	整備	-		完了			整備	R3	93	危機管理室	危機管理室		○
5-6		集中備蓄倉庫の整備	50	2箇所	0箇所	東区集中備蓄倉庫建設中(R6.4完成予定)	概ね順調			5箇所	R7	93	危機管理室	危機管理室		○

目標:6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
6-1	市有施設へのエネルギー供給源の多様化(再掲)	(完了)市有施設への太陽光発電設備の設置	51	123施設	130施設	施設の新築・改修に合わせて設置	完了			130施設	R7	94	環境局	ゼロカーボン推進課		
6-1		公用車への電気自動車の導入	51	40台	39台	リース期間の更新等にに合わせて導入可能な施設に順次導入	遅れ	充電設備の設置場所の問題や、軽EVの走行可能距離の問題等により、導入が進んでいない。	200台	R7	94	環境局	ゼロカーボン推進課			
6-1	住宅等におけるエネルギー供給源の確保	住宅等への太陽光発電設備の設置容量	51	400千kW	413千kW	補助金により設置を促進	順調			413千kW	R7	94	環境局	ゼロカーボン推進課		
6-2	農業水利施設の保全	-	51	-	-	通常の維持管理の徹底に努めた	概ね順調			-	-	94	産業観光局	農村整備課		
6-2	水道施設の耐震化(再掲)	浄水施設の耐震化率	51	8.5%	8.5%	三野浄水場浄水池基本・詳細設計実施	概ね順調			64.9%	R8	94	水道局	配水課		○
6-2		配水池の耐震化率	51	60.7%	62.8%	坂根配水池の廃止	概ね順調			78.5%	R8	94	水道局	配水課		○
6-2		ポンプ場の耐震化率	51	52.1%	52.1%	三野浄水場浄水池基本・詳細設計実施	概ね順調			84.3%	R8	94	水道局	配水課		○
6-2		管路の耐震管率	51	20.5%	21.3%	老朽管の更新を主に実施	やや遅れ	事業費高騰に伴う更新率の低下	25.1%	R8	94	水道局	配水課		○	
6-2	水道施設の耐震化(再掲)	基幹管路の耐震適合率	51	51.6%	53.9%	基幹施設整備計画で実施	順調			52.3%	R8	94	水道局	配水課		○
6-2		耐震確保拠点施設数	51	29施設	37施設	岡村一心堂病院等への管路整備を実施	順調			49施設	R8	94	水道局	配水課		○
6-2		災害時確保水量	51	49,690m ³	50,490m ³	瀬戸調整池の完成	順調			53,940m ³	R8	94	水道局	配水課		○
6-2	災害対策	自家発電機の設置	52	4浄水場	4浄水場	-	概ね順調			6浄水場	R8	95	水道局	配水課		

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
6-2	相互応援体制等の整備(再掲)	-	53	-	-	東京都や他政令市との間で、相互応援に関する覚書を締結済。その他にも日本水道協会岡山県支部内の相互応援体制を整備済。より効果的な応援体制となるように、内容を精査しつつ、継続して合同訓練を実施している。	順調			-	-	95	水道局	企画総務課		
6-2	工業用水道施設の耐震化(再掲)	管路の耐震適合率	53	40.2% (8,989/22,386)	40.2% (8,989/22,386)	工事施工中	概ね順調			41.5%	R8	95	水道局	配水課		
6-3	合併処理浄化槽の設置の促進	合併処理浄化槽設置補助金の交付件数	53	782基	668基	設置補助金を交付し、設置を促進	やや遅れ	新築住宅着工戸数の減少に伴う申請数の減少	令和5年度に計画期間を1年延長し、令和2年～7年とした。目標は、毎年度900基(うち単独処理浄化槽からの転換数40基、汲りからの転換数100基)で変更なし。	年950基(R2～3年度) 年900基(R4～7年度)	R7	95	環境局	環境保全課		
6-3		単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換数	53	25基	18基	浄化槽設置補助に加え、宅内配管工事費の助成による上乘せの実施	遅れ	既に水洗化状態であるため、設置替えのインセンティブが高まらない	令和5年度に計画期間を1年延長し、令和2年～7年とした。目標は、毎年度40基で変更なし。	年40基	R7	95	環境局	環境保全課		
6-3	下水道業務継続体制の整備(再掲)	業務継続計画の実地訓練 年1回以上実施	53	訓練を1回実施	訓練を1回実施	発災後のシナリオを設定したロールプレイング形式の図上訓練で、より実践的な訓練を実施	順調			継続的に実施	-	95	下水道河川局	下水道河川計画課	○	
6-3	下水道整備の推進(再掲)	下水道普及率	53	68.8%	69.2%	アクションプランに基づいて、整備を実施	やや遅れ	近年の物価高騰などにより、事業費の増大を余儀なくされ、事業の執行に易经が生じてきている		74%	R7	96	下水道河川局	下水道河川計画課	○	
6-3	下水道施設の老朽化対策	施設の機械・電気設備老朽化対策点数	54	74.3% (669/900点)	74.3% (669/900点)	-	順調			100% (900/900点)	R7	96	下水道河川局	下水道施設整備課	○	
6-3	下水道管渠施設の老朽化対策	老朽化点検調査	54	132km	141km	埋設後50年程度経過した下水管について年次計画を立てて実施している。	順調			129km	R7	96	下水道河川局	下水道保全課	○	
6-3		改築更新工事の実施 1.5km/年	54	2.1km	2.0km	老朽化点検調査の結果を基に管更生工事を実施している。	順調			毎年度1.5km実施	-	96	下水道河川局	下水道保全課	○	
6-3	下水道施設の耐震化(再掲)	下水道施設耐震化率(昭和56年建築基準法改正以前施設)	54	44% (4/9施設)	44% (4/9施設)	-	順調			78% (7/9施設)	R7	96	下水道河川局	下水道施設整備課	○	
6-3	下水道管渠の耐震化(再掲)	重要な管路の調査診断延長	54	57km	58km	優先順位である市街地(合流地区である旧旭西処理区)の調査診断が完了したことから、旧旭西処理区以外について調査診断をおこなっている。	順調			65km	R7	96	下水道河川局	下水道保全課	○	
6-3		下水道管渠(人孔)の耐震化率	54	52% (90/174基)	87% (151/174基)	緊急輸送道路及び重要物流道路に埋設されているマンホールについて、マンホール浮上の防止対策を実施している。	順調			100% (174/174基)	R7	96	下水道河川局	下水道保全課	○	
6-4	早期の道路啓開と復旧	-	55	-	-	関係機関との連携強化を図り、災害時における人員、資機材確保に努める	概ね順調			-	-	97	都市整備局	道路港湾管理課		
6-5	農業用水の安定供給	-	55	-	-	通常の維持管理の徹底に努めた	概ね順調			-	-	97	産業観光局	農村整備課		
6-5	取水制限への対応	-	56	-	-	異常湧水に対するマニュアルを整備済。より実際に即したものにするために、継続して内容を精査している。	順調			-	-	97	水道局	企画総務課、営業課、配水課		

目標:7 制御不能な複合災害、二次災害を発生させない

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
7-1	消防活動拠点の整備と市街地の消防力強化	(完了)火災を大規模化させぬよう早期対応できる位置に消防署所を配置する。	57	-	-		完了			-	-	98	消防局	消防企画総務課	○	
7-1		(完了)市街化地域を含む形で、各署所の署所担当面積が周辺署所と重ならぬよう消防署所を配置する。	57	-	-		完了			-	-	98	消防局	消防企画総務課	○	
7-1	災害対応のための環境整備	耐震性貯水槽の設置率	57	70% (28/40箇所)	80% (32/40箇所)	関係部局と連携し設置を推進する。	概ね順調		目標数値を修正する。	82.5% (33/40箇所)	R7	98	消防局	警防課		
7-2	危険物施設等の災害時連携体制の強化(再掲)	-	57	・現地訓練2回 ・特別訓練1回	・現地訓練2回 ・特別訓練1回	訓練や立入検査、危険物安全週間を通じ、災害発生時の連携体制について一層の強化を図った。	概ね順調			-	-	98	消防局	予防課・警防課		
7-3	避難路沿道建築物の耐震化	避難路沿道建築物の耐震化率	58	92% (935/1,016棟)	92% (936/1,012)	建築物の耐震化の重要性及び補助制度についての啓発活動の実施	やや遅れ	民間建物所有者の耐震化に対する意識の向上が課題		95%	R7	99	都市整備局	建築指導課	○	
7-4	排水機場(河川防災室所管)の長寿命化対策	排水機場(河川防災室所管)の長寿命化対策	58	0% (0/9排水機場)	22.2% (2/9排水機場)	工事実施2箇所(R4/R5債務) 新たに工事発注2箇所(R5/R6債務)	遅れ	起債事業とするため長寿命化計画の策定等予算化に期間を要したため。		100% (9/9排水機場)	R7	99	下水道河川局	下水道河川計画課	○	
7-5	有害物質の漏えい対策の実施	アスベスト含有保温材等使用市有施設の把握	58	100% (1,202件)	100% (1,231件)	市有施設に係る調査を実施(総務省調査分のみ)	順調			-	-	99	環境局	環境保全課		
7-5		有害物質使用特定施設等の監視強化	58	72%	82%	立入計画を策定し実施	順調			100%	R7	99	環境局	環境保全課		
7-6	農業生産基盤の整備等	-	59	-	-	計画的に実施	概ね順調			-	-	99	産業観光局	農村整備課		

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標		
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度	
7-6	農地農業用施設の保全の強化	多面的機能支払交付金対象地区数	59	65地区	66地区	昨年度より1地区増	やや遅れ	新規取組増加数が見込みより少なかった			80地区	R7	99	産業観光局	農林水産課	○	

目標:8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標		
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度	
8-1	災害廃棄物を想定したごみ焼却能力の確保	ごみ焼却施設の整備	60	整備事業中	整備事業中	整備事業中	順調				稼働	R8	101	環境局	環境施設課	○	
8-2	災害時支援協定による人員・資機材の確保	-	60	-	-	関係機関との連携強化を図り、災害時における人員、資機材確保に努める	概ね順調				-	-	101	都市整備局	道路港湾管理課		
8-2	災害時の相互応援協定に基づく行動計画の作成	-	61	-	-	年度当初に連絡責任者を確認。指定都市市長会事務局を通じ行動計画を作成	順調				-	-	101	危機管理室	危機管理室		
8-3	地域における主体的な活動の推進	95小学校区・地区に安全・安心ネットワークが組織されている。	61	-	-	小学校区・地区を単位として、地域団体等が地域の課題解決に向けて連携し活動する組織である安全・安心ネットワークの活動を支援した。	順調				-	-	101	市民協働局	市民協働企画総務課		
8-3		概ね小学校区に1館コミュニティハウスを整備する。	61	-	-	地域住民の交流促進し、コミュニティ活動を推進するため、活動の拠点となるコミュニティハウスの維持管理を実施するとともに、コミュニティ活動促進に資する情報の提供を行った。	順調				-	-	101	市民協働局	市民協働企画総務課		
8-3		自主防災組織率	61	94.2%	94.3%	・出前講座等で自主防災組織の必要性の周知啓発。 ・連合町内会総会で、結成に向けた協力依頼を実施。 ・全連合町内会、単位町内会に結成と活動活性化に向けた働きかけを文書で実施。 ・自主防災組織結成数:1,189件 ・避難活動準備助成金:9件 ・活動運営費助成金:278件 ・地域役員・職員等への防災講習会(防災士養成研修)受講生47人	概ね順調				100%	R7	102	危機管理室	危機管理室	○	○
8-3	防災活動を通じたコミュニティの形成(一部再掲)	地域向け防災説明会の実施(毎年)	61	4回開催(各区1回)	4回開催(各区1回)	地域において個別避難計画の作成の中心となる自主防災組織や民生委員・児童委員を対象に、個別避難計画の作成についての説明会を実施。個別避難計画の必要性や作成方法、個人情報の取扱などについての説明の他、先進地域の取組事例の紹介などを行った。	順調				-	-	102	危機管理室	危機管理室	○	○
8-3		(完了)女性向け防災ハンドブックの作成	61	-	-		完了				作成	R3	102	危機管理室	危機管理室		○
8-3	防犯ボランティア団体等に対する防災意識の啓発	防犯ボランティア団体等を対象とした講座・講習会の実施	61	各種安全講習7回 現地指導31回	各種安全講習21回 現地指導57回	防犯ボランティア団体等を対象とした講習・現地指導で、防災意識の啓発を行っている。R4年度と比較し新型コロナウイルスの影響が減り、ボランティア活動が活発化してきたことにより回数増加となった。	順調				-	-	102	市民生活局	生活安全課	○	
8-3	災害ボランティアネットワーク会議等	災害ボランティアネットワーク会議等実施 年1回	62	3回	3回	・連絡会議1回(年間事業計画の策定) ・全体会議1回(災害ボランティアネットワークの交流を兼ねた会議) ・基礎講座1回(市民を対象に災害ボランティアセンターの機能・役割を学ぶ)	順調				-	-	102	市民協働局	市民協働企画総務課		
8-3	災害ボランティア養成講座	災害ボランティア養成講座実施 年1回	62	1回	1回	岡山市社会福祉協議会、民間団体、市民と一緒に災害ボランティアセンター運営・設置訓練を実施	順調				-	-	103	市民協働局	市民協働企画総務課		
8-3	男女共同参画の視点からの防災意識	男女共同参画の視点からの防災に関する講演会及びワークショップの実施 年3回以上	62	年6回	年6回	防災に関する講演会及びワークショップをさんかく岡山及び5公民館で開催した。(※カレッジ基礎コースと市民協働事業、さんかくウイーク2023公民館行事にて防災をテーマに実施)	順調				-	-	103	市民協働局	女性が輝くまちづくり推進課		
8-3	岡山ESDプロジェクト推進による防災意識の啓発	-	62	-	-	「片づけ×防災 無理なく続ける仕組みづくり」をテーマに、ESDカフェを開催した。参加者24人。	順調				-	-	103	市民協働局	SDGs・ESD推進課		

事態番号	施策	指標	脆弱性評価ページ	令和5年度取組状況					目標(見直し時)		推進方針ページ	担当局	担当課	総合計画	重点化に係る指標	
				令和4年度	1実績(数値等)	②取組状況	③進捗状況	④進捗状況が遅れ・やや遅れの理由	⑤備考	数値等						達成年度
8-3	防災キャンプ推進事業の継続	防災キャンプ児童生徒参加数 年240人	62	377	707	市内12公民館で計18回青少年を対象とした防災教育を実施した。	順調			-	-	103	岡山っ子育成局	地域子育て支援課	○	
8-4	橋梁の耐震化(再掲)	橋長15m以上の緊急輸送道路上の橋梁及び跨線・跨道橋のうち、耐震補強が必要な橋梁の耐震補強実施率	63	48% (48/99橋)	48% (48/99橋)	令和6年度の耐震補強工事に向けて、橋脚等の補修工事を実施	概ね順調			50%	R7	103	都市整備局	道路港湾管理課	○	
8-4	橋梁の長寿命化	橋長15m以上の補修が必要な橋梁のうち、長寿命化対策を実施した橋梁の割合	63	6% (7/108橋)	7% (8/108橋)	長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検と補修工事を実施	概ね順調			6%	R7	103	都市整備局	道路港湾管理課	○	
8-4	トンネルなど道路施設の長寿命化	-	63	-	-	長寿命化修繕計画に基づき、点検と補修工事を実施	概ね順調			-	-	104	都市整備局	道路港湾管理課		
8-4	港湾の長寿命化	-	63	-	-	維持管理計画に基づき施設点検を実施	概ね順調			-	-	104	都市整備局	道路港湾管理課		
8-4	地籍調査の推進	岡山市内全域地籍調査実施率	63	53.0% (401.83/757.84km ²)	53.2% (402.58/757.84km ²)	事業計画に基づき実施	遅れ	人員体制の強化が図れず、事業の拡大が困難であるため。	61% (462.53/757.84km ²)	R11	104	産業観光局	農村整備課		○	
8-5	災害リスクの周知(一部再掲)	各種ハザードマップの配布・周知	64	-	-	出前講座等で配布・周知を継続して行った。浸水想定区域内にある全世帯へ配布を行った。	順調			-	-	104	危機管理室	危機管理室	○	○
8-5		液状化危険度マップの配布・周知	64	-	-	出前講座等で配布・周知を継続して行った。	順調			-	-	104	危機管理室	危機管理室	○	
8-5		(完了)計画規模降雨を踏まえた洪水ハザードマップの作成・公表	64	-	-		完了			作成	R3	104	危機管理室	危機管理室		
8-5		(完了)高潮ハザードマップの作成・公表	64	作成	-		完了			作成	R4	104	危機管理室	危機管理室		
8-6	避難所運営の円滑化	指定職員に対する研修会の実施(毎年)	64	4回	3回	5月に指定職員リーダー、サブリーダー対象に3回実施	概ね順調			-	-	104	危機管理室	危機管理室		○
8-6		総合防災訓練の実施(毎年)	64	1回	1回	R5.8.27実施	順調			-	-	104	危機管理室	危機管理室	○	○
8-6	物資調達・供給体制の構築(再掲)	災害時物資供給協定の推進	64	26協定	28協定	継続して協定の推進を図っていく。	概ね順調			-	-	105	危機管理室	危機管理室		
8-6		(完了)岡山市物資調達・搬送体制の整備	64	整備	-		完了			整備	R3	105	危機管理室	危機管理室		○
8-6		集中備蓄倉庫の整備	64	2箇所	0箇所	東区集中備蓄倉庫建設中(R6.4完成予定)	概ね順調			5箇所	R7	105	危機管理室	危機管理室	○	○
8-6	備蓄計画の推進、避難所における物資・資機材の確保、家庭内備蓄の啓発(再掲)	岡山市備蓄計画(計画期間R2~)34品目 備蓄状況抜粋 アルファ化米 飲料水(500ML) 毛布	65	38.8% (274,707/708,000) 36.6% (307,463/840,000) 95.3% (132,686/139,200)	77.4% (422,417/546,000) 48.8% (443,843/909,000) 87.7% (133,374/152,000)	備蓄計画に基づき、購入を進めている。	概ね順調			100%	R9	105	危機管理室	危機管理室	○	○
8-6		市民意識調査での水・食糧の備蓄実施率の向上	65	-	-	令和5年度は市民意識調査実施なしのため実績入力不可。出前講座等で水・食糧の備蓄の重要性の啓発周知を行っている。	順調			-	-	105	危機管理室	危機管理室	○	
8-6	地域での避難行動要支援者名簿を活用した実効性ある支援体制の構築(再掲)	災害リスクの高い地域の避難支援体制の整備	65	-	-	避難行動要支援者名簿を作成し、地域に提供するとともに、要支援者の個別避難計画作成についての説明会を開催し、取組促進を図った。	概ね順調			整備	R7	105	危機管理室 保健福祉局 市民協働局	危機管理室 保健福祉局 市民協働局	○	○
8-6	福祉避難所	(完了)福祉避難所協定の推進	65	74施設	-		完了			-	-	106	保健福祉局	保健福祉企画総務課		
8-6	災害時健康危機管理支援チームの養成	-	65	研修へ参加基礎編2名	研修へ参加基礎編4名	国立保健医療科学院が開催する研修へ参加した。	順調	今後も参加	-	-	106	保健福祉局	保健管理課			
8-6	心のケアチームの養成	-	65	研修の実施	研修の実施	研修を1回実施した。	概ね順調			-	-	106	保健福祉局	保健管理課		
8-6	通信手段の確保	-	65	-	-	-	概ね順調			-	-	106	危機管理室	危機管理室		
8-7	被災者支援体制の整備	災害救助法担当者との情報共有等(毎年)	66	-	-	災害救助法担当者と適宜情報共有を図った。	順調			-	-	106	危機管理室	危機管理室		
8-7		被災者生活再建支援システムの運用体制の整備	66	-	-	運用体制について整備中	概ね順調			-	-	106	危機管理室	危機管理室		